

## 植物検疫と放射線 いま、照射に期待？！

～植物検疫の国際基準と輸出促進に向けた取り組み～

日時:2019年7月5日(金) 13:00～15:30

(第56回 アイソトープ・放射線研究発表会 最終日)

場所:東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

(地下鉄南北線 東大前駅1分、東大農学部正門入ってすぐ左側)

申込:下記サイトから事前参加登録をお願いします(先着50名)

日本アイソトープ協会／アイソトープ・放射線研究発表会／一般公開  
研究発表会のご案内) [https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/index.html)  
一般公開・事前参加登録) [https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/symposium/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/symposium/index.html)

参加費:無料 (研究発表会本体にも参加の場合は、そちらの参加登録と参加費が必要です)

食品照射技術のひとつである、放射線照射による植物検疫処理は、非加熱処理で品質劣化が少ない、環境汚染につながる薬剤も使わない等のメリットが大きいと、薬剤くん蒸処理や温湯浸漬処理の代替法として世界で実用化が急拡大しています。

そもそも「植物検疫」とは何か、各国ではどのような取り組みがなされているのか。専門家を招いて国内外の現状について学ぶとともに、食料の安定供給や消費者利益の観点から、会場の皆様も交えた意見交換を行いたいと思います。

### I. 話題提供

「植物防疫と技術開発の現状」

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究総務官 島田和彦氏

「世界で急拡大する照射による検疫処理」

農研機構 食品研究部門 食品安全研究領域長 等々力節子氏

### II. 質疑応答、会場の参加者も交えての意見交換

司会 食のコミュニケーション円卓会議 代表 市川まりこ

安全で豊かな食生活に役立つ優れた技術が、なぜ日本では使えないのか？生産者と消費者のそれぞれの利益を損ねている障害を取り払い、より良い日本の未来を拓くために、様々な立場の人々と一緒に考えてみたいと思います。

**主催:** 食のコミュニケーション円卓会議 <http://food-entaku.org>

**共催:** 公益社団法人日本アイソトープ協会 <https://www.jrias.or.jp/>  
日本食品照射研究協議会 <http://www.jrafi.jp/>

**問い合わせ:** 食のコミュニケーション円卓会議 Tel:090-9644-0008

E-mail: foodentaku@gmail.com